

柳井につぼん晴れ街道協議会だより

第48号 令和4年5月発行

令和4年度総会を開催します

「柳井につぼん晴れ街道協議会」の令和4年度総会を、令和4年5月28日（土）10時から、柳井市文化福祉会館1階会議室で開催します。令和3年度事業報告及び決算報告、令和4年度事業計画案及び予算案などについて審議します。

会員の皆様には、別途開催のご案内をします。お忙しいところ誠に恐縮ですが、出席していただきますようお願いいたします。

なお、やむを得ず欠席される会員は、委任状を提出していただきますようお願いいたします。

5～6月のウォーキング

柳井につぼん晴れ街道協議会は、柳井市観光協会と共催するウォーキングを開催します。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

日時	コース	① 距離・所要時間 ② 参加費用 ③ 定員
4月16日（土）	【コース①】古道と大内氏ゆかりの地を歩く ⇒終了しました。	
5月21日（土） 雨天中止 集合 9時45分 柳井駅 開始 9時55分 終了17時30分頃 柳井駅	【コース②】源平ゆかりの地と相ノ浦枝往還を歩く 柳井駅(9:55)→宇積バス停(10:20)→黒崎の滝→相ノ浦枝往還→相の浦の石堀→池浦神社→大津の平家塚→道の駅上関海峡→道の駅上関海峡バス停(16:41)→柳井駅(17:28)	① 約13km 約7時間30分 ② 1,200円（保険料、弁当代込） 別途バス代1,680円が必要 ③ 20名 （最少催行人員：10名）
6月18日（土） 雨天中止 集合 9時50分 柳井駅 開始10時 終了17時頃 柳井駅	【コース③】古開作の史跡と土穂石川の橋めぐり 柳井駅→白壁の町並み→八幡橋→土穂石小橋→土穂石橋→橋本橋→田布路木橋→新旭橋→旧旭橋→土穂石大橋→大歳神社→柳井駅	① 約10km 約7時間 ② 1,200円（保険料、弁当代込） ③ 20名 （最少催行人員：10名）

【コース②～③】の申込先：柳井市観光協会 0820-23-3655（9～17時）（実施日の1か月前から1週間前までに申込）※コースは都合により変更することがあります。

※新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない場合は、中止します。

土穂石川の橋めぐり

赤子山を源流とする土穂石川は、延長6 km余りの二級河川です。寛文5(1665)年に堀川として開削され、昭和12~13年にかけて余田地区の湿田を乾田に改良するため浚渫、拡幅され、現在の形になりました。中流域の新庄付近では岩国壺ヶ浜往還、下流域では小瀬上関往還が川のそばを通っています。

近年、下流域では河川改修が進み、一帯は橋が架け替えられるなど、大きく変わろうとしています。

そこで、このコーナーでは、土穂石川沿いの主な橋を紹介したいと思います。(【】内は、橋が初めて架けられた時期(目安)です。)

●新道橋【昭和2~12年】

南すおう青果市場の南側にある橋で、昭和26(1951)年に架橋。昭和50年代前半に下流側(東側)が拡幅され、2車線になった。



●築山2号橋【慶応~明治初年】

平成6(1994)年に架け替えられた2車線の橋。現地の橋名プレートには「築山橋」とあるが、正式には「築山2号橋」。下流に「築山橋」があるため。新しい橋の下に、古い橋の橋脚の一部分が残る。



●築山橋【明治27年~昭和2年】

昭和29(1954)年に架け替えられた橋で、橋脚は石柱となっている。



余田で、川ざらえをし猿田川の水が落ち合うところに空地を設けて砂礫をおくこととした。長年堆積して南北に2つの小さい丘となった。のちに道路、工場や明治30(1897)年頃鉄道敷設のために使用され、築山の地名が残っている。

●宮の下橋【慶応期以前】

昭和29(1954)年に架け替えられた橋。慶応期の岩国領総図には「土ハシ」とある。



「宮の下」は、土穂石八幡宮の下ということで名付けられた地名。

近年橋が修復され、欄干も高くなった。

●八幡橋【享保~江戸中期以前】

新庄小学校の北側にあり、地下上申絵図に掲載されている歴史のある橋。明治期には欄干付きの石橋だった記録が残る。



現在は仮橋となっている。「八幡」は土穂石八幡宮のこと。

●欣慶寺橋【享保期以前】

昭和29(1954)年に架け替えられた橋で、橋脚は石柱となっている。享保増補村記附図や、慶応期の岩国領総図には「板仮ハシ」とある。橋のそばに土穂石の石風呂(市文化財)があり、下流には、川の名称の由来となった「土穂石」がある。



●土穂石小橋【明治27年~昭和2年】

昭和29(1954)年に架け替えられた石橋で、橋の長さは22.3m。



大正10~11年に柳井中学校(現:柳井高等学校)の敷地を造成する際、近くの大方山(古開作地域の共有財産で、土手が切れた時の修築用として守られてきた山)から土を採取し、橋本橋の北の仮橋までレールを敷き、トロッコで土を運んだ。昭和19(1944)年に柳井機関区を拡張する際、大方山の土を採取し、先代の橋を渡り、この橋のすぐそばから柳井機関区まで作られたレールで運んだ。大方山は、後に国鉄官舎となり、現在は住宅団地となっている。

土穂石川の河川改修のため、撤去される予定となっている。

●土穂石橋【昭和43年】

昭和43(1968)年に初めて架橋された。幅員7.3m、橋長23.0m。比較的新しい橋のため、橋脚がない。



柳井高等学校入口から新庄、余田を通り田布施に至る南部農道をつくるときに架けられた。

土穂石川の河川改修のため、架け替えられる予定で、幅員も広がる予定となっている。

●橋本橋【寛文期】

柳井川に架かる宝来橋と同時期に建造された歴史の古い橋。当時土穂石川で最も下流に架けられていた。



享保増補村記附图では「土橋」、地下図は「土橋」、慶応期の岩国領総図では「石橋」となっていることから、途中幾度か架け替えられていることがわかる。

昭和8(1933)年に架橋された当時の古い橋柱が、橋から少し離れた場所に残っている。

土穂石川の拡幅により、橋は下流に架け替えられ、橋柱はお堂や橋のそばに移された。

橋本橋(当時石橋)から田布路木橋までの425m間では、柳井中学校(現:柳井高等学校)の水泳同好会が自主的に水泳練習を行っていた。ただし、潮が満ちて水量が多い時に限られ、飛び込みは橋の上から行っていた。

●田布路木橋【慶応期以前】

国道188号に架かる鋼橋。昭和42(1967)年に架け替えられ、昭和54(1979)年に歩行者が通れる橋を架けた。幅員11.4m、橋長29.4m。



以前は数メートル下流に橋があったが、田布路木から線路を横断し(現在のみずほ橋のある所)、塚本パン屋(現:塚本金物店)につながる産業道路をつくる時に、現在の位置に橋が架けられた。産業道路は昭和24(1949)年9月全通した。昭和40(1965)年頃までは2つの橋が併存していた。

●旭橋【昭和41年】

昭和41(1966)に架けられた橋。幅員8.8m、橋長113.2m。



下流の旭橋の幅が狭く、老朽化が進んでいたため、現在のゆめタウンの近くに新しく架橋した。

昭和56(1981)年に歩道橋が付設された。

●旧旭橋【明治12年】

コンクリート橋で、幅員5.0m、橋長109.3m。



かつて橋がなかった頃、土穂石川には渡し舟があり、舟賃は1文だった。

明治12(1879)年、平江市助らの発起により私財約530円が投じられ、幅員2mの木橋が架けられた。通行料は1人片道2厘、牛馬1頭につき4厘を徴していた。

明治18(1885)年、川の満潮位が高いことの影響を受けて補修が必要となり、明治25(1892)年に幅員約3mの石橋に改良された。その通行料は1人片道5厘、牛馬と人力車は片道1銭だった。

明治43(1910)年、伊保庄村が橋の権利者と契約して村道に編入し、通行料も廃止された。

昭和7(1932)年、村費26,000円で幅員5mの鉄筋コンクリート橋に改修された。当時、橋の北側には塩田が広がっていた。

老朽化により、軽車両・歩行者のみ通行できていたが、平成25(2013)年6月1日に全面通行禁止となり、134年の歴史に幕を閉じた。

●土穂石大橋【平成19年】

主要地方道柳井上関線(県道72号)に架かる鋼箱桁橋で、平成19(2007)年に、県道バイパスとして架けられた。幅員11.8m、橋長149.5m。



土穂石川で最も下流に架かる橋。江戸期に土穂石川ができた頃は、橋本橋が最下流の橋であったため、当時から約2km下流に架けられたことになる。

「柳井につぼん晴れ街道」に関する行事のご案内

5月	21日(土) 9:45~17:30 柳井駅集合	源平ゆかりの地と相ノ浦枝往還を歩く→1ページ参照 阿月宇積から相の浦、池の浦を経由して、上関までのコースです。 問い合わせ：柳井市観光協会 0820-23-3655
	22・29日(日) 7:40~8:10 柳井駅	トワイライトエクスプレス瑞風おもてなし 6月5日、26日にも停車します。 問い合わせ：柳井市観光ボランティアの会 0820-23-3655
	28日(土) 10:00~ 柳井市文化福祉会館	柳井につぼん晴れ街道協議会令和4年度総会 令和4年度の活動計画等について協議します。 問い合わせ：柳井につぼん晴れ街道協議会事務局 090-7509-3163
6月	11日(土) 10:00~ 茶臼山古墳	柳井市観光ボランティアの会茶臼山古墳現地研修 ガイド養成も含めて開催します。 問い合わせ：柳井市観光ボランティアの会 0820-23-3655
	18日(土) 9:50~17:00 柳井駅集合	古開作の史跡と土穂石川の橋めぐり→1ページ参照 土穂石川の中流、下流にある橋をめぐります。 問い合わせ：柳井市観光協会 0820-23-3655
通年	日曜・祝日(年末年始除く) 10:30~ 柳井駅集合	DISCOVER WEST ハイキングー地元ガイドとまち歩きー 白壁の町並みを歩きます。予約不要、無料。 問い合わせ：柳井市観光ボランティアの会 0820-23-3655

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、中止や延期になることがあります。

ホームページをご覧ください

柳井につぼん晴れ街道協議会では、ホームページを開設し、街道の見どころや活動内容を掲載しています。アドレスは次のとおりです。パソコンやスマートフォン等でご覧ください。

<https://yanainipponbare.com/>



QRコード

「柳井につぼん晴れ街道協議会」会員を募集しています

「柳井につぼん晴れ街道協議会」は、恵まれた気候風土と歴史が育んだ柳井地域の街道筋にある地域資源を生かした、魅力ある地域づくりを行っております。

会員になると、ホームページや協議会だよりで、個人や団体が主催している各種活動情報をPRすることができます。また、入会している個人・団体との交流ができます。

●会費

種別	会費		
個人会員	年会費 1口	500円	(1口から)
団体会員	年会費 1口	1,000円	(1口から)

●問い合わせ

柳井につぼん晴れ街道協議会 事務局長 岸田稔明 電話：090-7509-3163

編集・発行 柳井につぼん晴れ街道協議会

〒742-0035 柳井市中央二丁目2番12号 武居ビル2階

電話 090-7509-3163 FAX 0820-23-8563

メール info@yanainipponbare.com

HP <https://yanainipponbare.com/>

右のQRコードからお入りください⇒

